

あす민ノート
2014.5.31

Asumin Note 1

information magazine

KEYWORD

福祉の「垣根」を越える目線を持つ

- 伝えたいヒトコト：特定非営利活動法人エスタスカーサ
- ステップアップ講座：ホームページを活用しましょう
- 明日の共働を考える：企業とNPOとの共働
- あす민美術館：「春」山部裕太郎さん作
- あす민でできること：活動を広げる4つのステップ
- 新規登録団体：2013.10～2014.3(37団体)
- あす민オススメ事業：地域デビュー入門講座





INTERVIEW

伝えたい ヒトコト

福岡市内の注目したい活動を行う
NPO・ボランティア団体を訪問。
キーパーソンとなる方に、
話をうかがい、活動のヒントを
みなさまにご紹介します。

特定非営利活動法人 エスタスカーサ



理事長
知足文隆さん(ともたり・ふみたか)

福祉の「垣根」を越える目線を持つ

－活動内容は？

「私たちの団体は、障がい者支援事業としてのヘルパー派遣や、障がい者の方を受け入れるショートステイ事業を実施しています。特にショートステイ事業は、家庭とは違う場所で、様々な個性をもった方々と場を共有することで、今後どのように生きていきたいか本人自身が考えるきっかけになれば、という思いで昨年末に新たな施設『アルコイリス』を開所するなど力を入れています。同施設では様々なこだわりや、身体状況に配慮した低床で畳敷きとなっている浴室が好評です。また事務所1階では、老若男女、障がいのあるなしに関わりなく集まることができる『交流スペース』づくりも大切にしています。みんなで集まりお昼を囲む『みんなの日』や、誰でも参加できる『フラワーアレンジ教室』などのイベントを定期的に開催し、『あらゆる人がつながれる居場所』をつくり続けています。」

－活動を始めた経緯は？

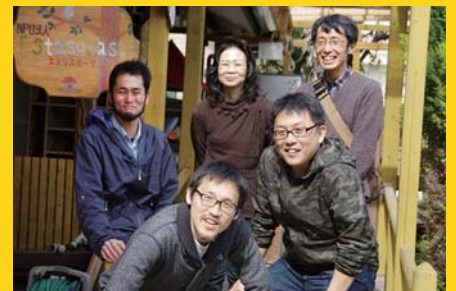
「大学卒業後、視覚障がい者の音声誘導システムの会社で働いていました。ものづくりで支援する仕事でしたが、次第に直に現場に身を置き、人と経験を共有できる場で働きたいと思い始めたのです。そこで地元福岡に戻り、福祉作業所で働き始めました。その場で出会った妻と結婚、出産後妻の復職を機に育児に専念するため離職しました。初めての経験が続



01



02



03

き、悩んだこともあった当時、本当に周囲の人に助けられました。それらの人生経験を通して、人の協力を得ながら暮らす大切さ、また高齢者・障がい者・乳幼児といった福祉の「垣根」を越え、ともに過ごせる場をつくれなかつたかと思つたんです。」

本質に向き合い、助けを借りる

－その経験が現在の活動に？

「はい。やりたいけど自分たちだけで取り組めないことは、様々な特技を持った人たちに協力してもらおうようにしています。はじめから『福祉』『環境』『食』とジャンルで区別せず、課題の本質に向き合つて活動している本物から発信される情報に耳を傾けるよう心がけています。」

－団体は、今後どのような展開を？

「相手が何を望み、どんな生き方をしてきたか、日々の関わりを通して感じとりたいですね。障がいを持った方が自宅で住みたいと希望されれば、それを実現する。グループで住みたいのであれば、それを空き家など小さい規模で作っていく。私たちがやっているグループショートステイ事業は、他事業者にも活用してほしい。そうすれば、結果的に個々の必要性に応じた住まいが、まちに点在していきます。何でも自分たちだけでやってしまわない。人の手を借りることで、様々なアイデア、人的要素が溢れ出さんです。道のりは長いし、たった一つの終着点ではないんです。」

自然もほとんどが自分の思い通りにはなりません。全然育つてなかつた草が、今年は元気に育っている。そんなことの方が人生では多いんです。だからこちらが柔軟な態勢を作つておく。自由にならない、操作できない『場』を耕すことが大事だと思っています。本質として土壌に栄養があれば、樹は実るのです。」

－最後に、活動で大事なことを。

「人に必要とされることは、とても幸せなことだと思うんです。その気持ちを忘れず、自分自身が真摯に生きていくことで、世の中の物事が少し良い方向に向かっていくはずだと思つながら、『生かされている』ではなく、『生きている』実感を持って、これからも日々活動を紡いでいくつもりです。」

団体情報

平成16年設立。団体名(Esta su Casa)はスペイン語で「ここを自分の家だと思つてくつろいでください」という意味。ヘルパー派遣、ショートステイ事業などの障がい者支援事業を実施。

〒811-1323 福岡市南区弥永2-17-1

【TEL】092-980-5675

【MAIL】casakids@awa.bbiiq.jp

【HP】http://www1.bbiiq.jp/estascasa/

01 毎年恒例、みんなでもちつき

02 子どもたちと施設の屋根材を塗装

03 信頼できるエスタスカーサの仲間と



COPRODUCTION COLUMN

明日の 共働を考える

共働には、さまざまな姿があります。
福岡がもっとよくなる共働とは？
その最前線にいる方々に、
共働をテーマにした執筆をお願いします。

企業とNPOとの共働

特定非営利活動法人
九州コミュニティ研究所

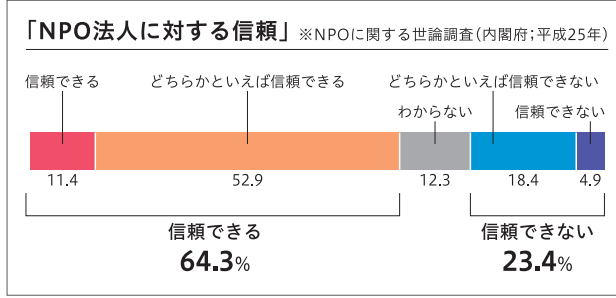
- 01 NPOに対する信頼(内閣府;平成25年)
- 02 ビューティーキャラバン事業の様子

社会が「共働」に望むもの

NPO・ボランティアなどの市民活動にとって、大切なキーワード「共働」が福岡市で使われるようになってから、11年以上もの年月が経ちました。

地方自治やまちづくりの分野で、例えば市民や行政単独では解決できない問題に取り組む「共働」から、近年ではCSR(企業の社会的責任)やSR(全員の社会的責任)という社会的責任の概念が登場し、行政だけでなく企業とNPOが結びつき社会貢献する側面が目立っています。

平成24年3月に福岡経済同友会社会貢献委員会が出した提言「『新しい公共』の実現に向けて～NPOと企業の連携～」では、NPOが新たな「公共」の担い手として



01

02

期待されており、また企業も持続的発展のために自らNPOなどと共働して社会貢献活動を行う意義が語られています。

しかし一方で、NPOの活動内容がまだ認知されておらず、具体的には「信頼性を得られていない」「情報が入手しづらい」ため、市民や企業の理解や支援を十分に得られていないという点も指摘されています。これらのポイントは、これからのNPOが意識しなければいけないものです。

これからの価値を持つ「共働」へ

ただし、情報提供をすれば企業に信頼され、「共働」が容易になるわけではありません。社会はより価値ある「共働」を望んでいます。それには、企業とNPOが「Win-Win」の関係構築できるか？その事業の社会貢献度はどれくらいなのか？などがクリアされている必要があります。

先進的な取り組みとして、「ビューティーキャラバン事業」があげられます。これは、東海ゴム工業株式会社と特定非営利活動法人全国福祉理美容師養成協会、そして大学と連携した共働事業で「シニアの人生をより美しく、楽しくする協働」として評価されています。この事業の高い評価ポイントは2つあります。1つ目は、「Win-Win」の関係構築です。対象のシニアの皆さんからは笑顔をいただき、現場では経験やデータが蓄積されていて、将来の事業につないでいます。2つ目は、社

会的投資に対してリターンが検討されている点です。地域での持続的な関係性を探るこの事業は、ニーズに応え地域に貢献する取組として認識されています。

このように得意な分野がつながる事でおこる、社会構造の変革が現在の「共働」に期待されています。こういった素晴らしい関係性を持った全国の事例をまとめた『協働のケース100』という冊子が、当団体と福岡県NPO・ボランティアセンターとの「共働」(※福岡県では「協働」)で発行されていますのでご活用ください。

「共働」が持つ可能性

また、直接的に結びつく事業だけではなく共働の可能性も考えられます。近年、注目されているファンドレイジングなどがそれにあたります。近いところでは、市民・企業からの寄付を原資にNPOが行う活動に助成を行う「あすみん夢ファンド(福岡市NPO活動支援基金)」があります。この仕組みが活用され、間接的に寄付者とNPOが結びつく「共働」により、多くの社会活動が生まれることを期待しています。

直接、間接にかかわらず、いま私たちNPOが行わなければならない事は、自分たちのミッションを提示し、その価値について社会に呼びかけることです。情報提供のスキルアップや勉強会・研修会の活用、他業種交流会などへの参加などで自分たちが変わる勇気を持つ事からはじめましょう。

ごあいさつ

「あすみん」マネジメントグループ
代表 耘野康臣

この度、情報誌「あすみんノート」の発行にあたり、ご挨拶を申し上げます。

平成26年4月1日より、福岡市NPO・ボランティア交流センター「あすみん」の管理運営を、私ども「あすみん」マネジメントグループ(特定非営利活動法人九州コミュニティ研究所+三笠特殊工業株式会社)が行っております。

当施設は、「市民の自主的かつ自発的な活動の促進を図って、市民全体のまちづ

くり寄与する」ことを目的に市民公益活動の活性化を促進、推進する機能を担う施設です。市民公益活動の活性化は、福岡市が進める「共働のまちづくり」の根幹となるものです。当施設は設置当初から、NPO、地域、ボランティア、企業、大学が集う場所であり、地域貢献に関心ある市民や行政とともに互いの交流と連携、活動や、情報の共有を行い、それらの団体、組織の充実、発展を図ってきました。

これからもさまざまな活動団体、組織などが、当施設を利用し、特徴を活かして市民公益活動の輪をさらに広げ、高めること、そこから共働のまちづくりを支える新たな社会システムの創造を推進していくことが望まれています。

当グループは、NPO・ボランティアが福岡市の市民公益活動の担い手として社会から認知され、その理念や活動が「共感」と「信頼」を持って受け入れられるための支援をしていきます。管理の面でも、今後もスタッフ全員でより一層、利用者のみなさまに喜ばれ、地域の社会貢献につながる施設運営を目指します。

その一環として私どもは今回、福岡市内のNPO・ボランティアに必要な情報や、団体の活動情報などを「あすみんノート」にて発信します。本誌が当施設を利用するNPO・ボランティアにとって、役立つ存在になればと思います。最後になりますが、今後ともあすみんにご支援・ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



FUNCTION

あすみんで できること

NPO・ボランティア団体の活動を広げるため

4つのステップを用意。

これまでの経験や目的に応じて

適したプログラムを選びましょう。

①相談:まずはここから

地域活動・ボランティア活動を始めようと思っても最初は分からないことばかり。「何かしたいんだけど・・・」と思ったら、考えるよりまず行動！あすみに足を運んでみてください。相談内容に応じてNPO団体や専門機関、具体的な活動、事業プログラムをスタッフが紹介します。また、「こんな人いませんか？」というボランティア募集などの相談にも対応しています。頭の中で考えていることを人に話すことで、話しているうちに整理でき、モヤモヤしていたことが少しずつカタチになってくることもありますよ。

②講座:基礎を抑える

様々な知識やノウハウを学ぶ場、それが講座です。スポーツでもそのルールが分かっていないと、ゲームの楽しさが分からなかったり、全く違う動きをしたり、時には周りに迷惑をかけることもあります。活動を始める前にまずはその基礎的な知識を身につけましょう。そのことで、活動を理解する・修得する(学びの)スピードも変わります。

講座には初級者向けだけでなく、組織運営やビジネス的なものなど、スキルを磨く上級者向けの講座もあります。それぞれのレベルや状況に応じて、自分にあった講座から学びましょう。

③交流:輪を広げる

活動に参加してみたいけど、いきなりドアをノックするのはちょっと勇気がいらしますよね。どんな活動があるのか、どんな人たちが集まっているのか、様々な立場の方が集まる交流会に参加して、自分にあった活動や団体を探してみましょう。中には、同じ気持ちで参加している仲間もいるはず。積極的に動き回って交流の輪を広げましょう。また、交流会は活動者にとっても輪を広げるチャンスです。活動をPRして、共感してくれる人・応援してくれる人を探してみましょう。

④体験:経験を重ねる

百聞は一見に如かず。実際に現場の活動に参加して経験を重ねましょう！「ボランティア体験プログラムブック ハジメのイッポ」では、30を越える体験プログラムを紹介しています。分野は環境、国際、子ども、福祉などさまざまです。気になる活動を選び、体験することができ、長期間受け入れを行っていますので、興味のある方は、まずご相談ください。

また、NPOの代表者に密着して学ぶインターンシップ「NPOかばんもち」では、それぞれのNPOの問題意識や日常業務の緊張感、活動の厳しさなどを肌で体験することができます。ぜひ幅広く活動に参加して、様々な視点を蓄積してください。

活動を広げる4つのステップ

①相談 ②講座 ③交流 ④体験

- 01 あすみん窓口での「相談」の様子
- 02 新しい出会い、つながりが生まれる「交流会」
- 03 NPO・ボランティアの現場で「体験」する



01



02



03

あすみんの2014年度事業 (詳細な日程は、あすみにてお尋ねください)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①相談	●	●	●	●	●	NPO会計事務個別相談		●	●	●	●	●
	●	● 共働事業提案制度 個別相談会										
②講座	●	●	●	●	●	NPO法人入門講座(基礎編・運営編)		●	●	●	●	●
		●	●			● ボランティア入門講座			● 災害ボランティア養成講座			
			← 地域デビュー入門講座 →									
			ボランティアコーディネーター養成講座 ←		→		●	● NPO運営基盤強化講座				
③交流	● 共働事業提案制度 サポートセミナー								● 市民活動・ボランティアフォーラム			
	● あすみん交流会		●			●						
		●	●									
		●		●		●		●		●		●
④体験				← 夏休みボランティア体験 →								
				← NPOかばんもち →								
				← ボランティア体験プログラム →								



ASUMIN RECOMMEND

あすみん オススメ事業

あすみんにはみなさんが参加できる
さまざまな事業があります。
ここでは、その中でも
旬な事業をお伝えします。

地域デビュー入門講座

開催概要

《コミセンわじろ会場》東区和白丘1-22-27
【開催日時】6/24、7/1・8・15 19:00-21:00
【申込み締切】6/22 【定員】20名
《さいとびあ会場》西区西部2-1-1
【開催日時】7/2・9・17・24 19:00-21:00
【申込み締切】6/30 【定員】20名
※お申込みは「あすみん」までお電話ください

01 地域活動の例：うみなかクリスマスキャンドル
ナイトでのサポートボランティア



01

これから、地元で生きていく

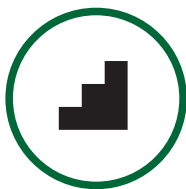
地域では、さまざまな形でボランティアの方々が活躍しています。子どもを守るパトロールや、川のゴミ拾い、地域がひとつになるお祭りの準備など。地道な努力が地域の関係をつなぐ、大きな支えとなっています。

「これまで仕事一筋だったけど、定年を迎えてこれまでお世話になった地域に恩返しをしようと思ってね。」「引越して来たばかりで、地域に馴染もうと思ってボランティアからはじめたんです。」など、きっかけや想いは人それぞれ違いま

すが、少しでも地域のために、誰かのためと同じ方向に力を合わせることで、たくさんの笑顔を生み出しています。

地域活動・ボランティア活動の基礎知識から、企画の立て方、活動時の注意点などを学ぶ「地域デビュー入門講座」(全4回)を東西2つの会場で開催します。

講座受講後には、両地域とも既に行われている地元のイベントやボランティア活動へご案内できるため、早速実践につなげることができるプログラムです。同じ想いをを持った仲間とも出会えるチャンスですので、お気軽にご参加下さい。



STEP UP

ステップアップ 講座

団体のステップアップにつながる
ツールや機会の活用法をご紹介します。
上手に活用して、今日からひとつ
スキルアップしてみましょう。

ホームページ(HP)を 活用しましょう

あすみんホームページ

<http://www.fnvc.jp>

01 あすみんHPのトップページ(左)と、
ログイン後の団体情報登録ページ(右)



ログイン



01

ITでも「あすみん」をフル活用！

インターネットのホームページは、団体のみなさんが持っている情報を掲載して、幅広く広報することができるツール(道具)です。

「でも、HPつくるのが難しそう…」確かに1からつくるのは大変です。そんな方はまず「あすみんWEB」を上手に活用してみれば、あすみに団体登録をすることで、団体のイベント告知やボランティア募集情報などの機能がご利用いただけます。また、あすみんメールマガジンでの情報発信も可能です。

あすみんWEBへの掲載方法

①あすみんHPの「ログイン」画面から、IDとパスワードを入力しログイン。
②団体マイページで「新規イベント」「新規ボランティア」「新規活動報告」を入力できます。必要な情報を入力後、登録確認の画面で確認し、登録完了。

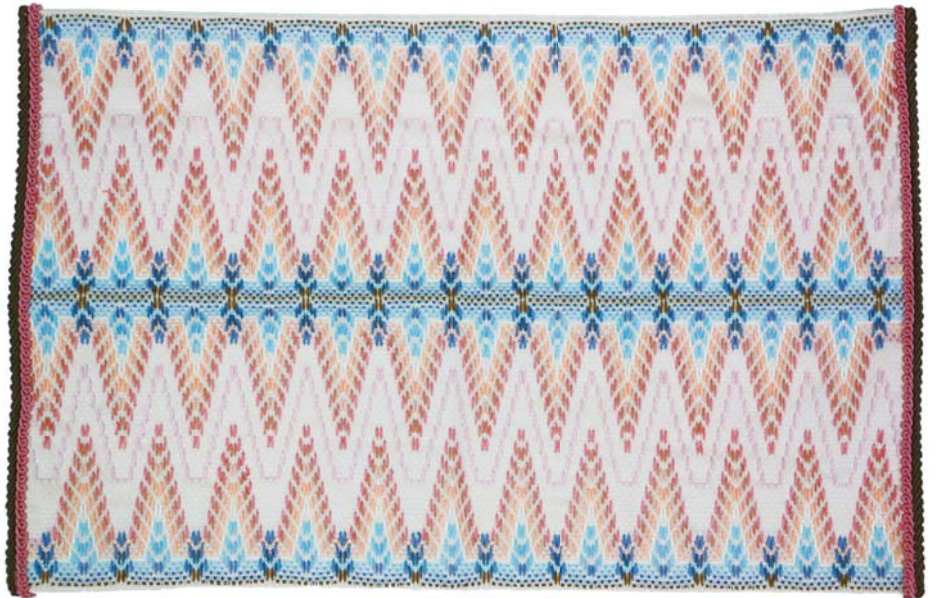
※ 毎月2回発行のメールマガジンにも情報掲載できる場合があります。窓口でお問合せください。
※ ご利用にはあすみんへの団体登録が必要です。
※ 団体登録時に送る「あすみん情報便」に、IDとパスワードを記載しています。必ずご確認の上、大切に保管してください。



ASUMIN MUSEUM

あすみん 美術館

アートを通して
人と人のつながりを生み出したい。
発表の場、コミュニケーションの機会となる
誌面ギャラリーです。



作品タイトル/作者

「春」

山部裕太郎さん(やまべ・ゆうたろう)

【作者コメント】「生の松原特別支援学校在学中にスウェーデン刺繍に出会い、楽しんで制作を続けています。福岡市西区下山門の特定非営利活動法人 太陽・Mで、毎日朗らかに活動しています。今回の作品では、やさしい色使いで『春』を表現しました。」



NEW ORGANIZATION

新規登録団体

あすみに新たにご登録いただいた
NPO・ボランティア等の
団体を掲載します。
(2013.10~2014.3)

- ONE HEART(一滴のまごころ) ● 日本イェナプラン教育協会 福岡支部 ● Kahula Kai Opua Oka Moana Pakipika ● NPO法人未来への伝言プロジェクト ● 21の会 ● NPO法人チルドリン ● NPO法人フォトカルチャー倶楽部 ● NPO法人全国レインボークラブ ● 文化研究キュウシュウ ● NPO法人日本キャリアアセスメント協会 ● NPO法人ハッピーライド ● 人材育成会 ● NPO法人ホーキーズ ● 九州大学ボランティアサークル ● NPO法人福岡県防犯設備士協会 ● (特活)九州DARC ● Keys For Key Project ● 劇団AFRICA ● NPO法人ITサポートワーカーズ ● (特活)緑のキャラバン隊 ● Tunaguwa ● 手話ダンス・サンダー ● あおぞらピヨピヨ合唱団 ● 再発性多発軟骨炎(RP)患者会 ● NPO福岡国際交流人の会 ● 絆を結ぶ会 ● (特活)社会基盤技術支援協会 ● (特活)国際交流支援ネットワーク(NPO IESN) ● 日本商業施設学会 九州部会 ● 特定非営利活動団体山水会 ● 七つ星会 ● TFT九州大学 ● さが「非行」と向き合う親たちの会 飛行船の会 ● NCGzero ● 新建築家技術者集団福岡支部 ● NPO法人福岡終活・相続支援センター みらいあん ● NPO法人成年後見支援センター

※団体の詳細な活動内容などについては、あすみんHPで検索ができます。

(登録順・37団体)

ご利用について のお知らせ

- ①平成26年4月1日からの消費税率が8%に引き上げと、印刷機の新機種入替えにともない、あすみんに設置、ご利用いただいている各種機器等の利用料金を改定いたしました(詳細は受付にてご確認ください)。
- ②団体宛に届いた郵便物等を施設内「連絡ボックス」にてお預かりするサービスを行って参りましたが、平成26年3月31日をもって、受取サービスを廃止させていただきます(団体メンバー間での物品受け渡しや保管場所としては、ご利用いただけます)。



福岡市NPO・ボランティア交流センター **あすみん**

【住所】 あすみんは2016年4月1日に、今泉に移転しました。

【TEL】 092-724-4801 【FAX】 092-724-4901

【MAIL】 info@fnvc.jp 【HP】 http://www.fnvc.jp

【開館時間】 月~土曜 10:00 ~ 22:00 日曜・祝日 10:00 ~ 18:00

【休館日】 第4水曜日、年末年始 12月29日~翌1月3日



お越しの際は公共交通機関をご利用ください

- 地下鉄をご利用の場合 ● 地下鉄空港線「天神駅」徒歩約4分 ● 地下鉄空港線「赤坂駅」徒歩約6分
- バスをご利用の場合 ● 西鉄バス「西鉄グランドホテル前」徒歩約1分 ● 西鉄バス「大名2丁目」徒歩約2分
- 電車をご利用の場合 ● 西鉄電車「西鉄福岡駅」徒歩5分

